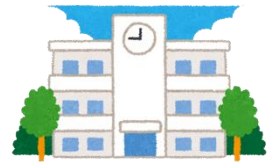


夏休み残り1週間。いよいよ2学期が目の前まできました。ワクワクしますね。

準備万端!?

8月23日、夏休み中。静かな教室と運動場。子どもたちのいない学校は、とても不思議な場所。それは、1週間余りで戻ってくるであろう、子どもたちの歓声を学校全体が待ち侘びている様にもみえます。



さあ、2学期が始まります。見学旅行に修学旅行、集団宿泊教室や学習発表会など、1年間のうちでも一番長く、濃く、豊かな学期の始まりです。だからこそ、準備が大切だと思うのです。

え～、準備って、なんだか面倒だなあ～

そんな声も聞こえてきそうな準備という活動。大切なことはわかっているんだけど、どちらかといえばネガティブな響きのあるこの言葉。実は、今年の夏を沸かせてくれたパリオリンピックの日本人選手がインタビューでたくさん使っていた言葉でもあります。

そもそも、準備ってなんだろう。

学期始まりに向けて、鉛筆や消しゴムなどの文房具を整えることだったり、夏休みでだらけた生活習慣を整えること（ごめんなさい、私のことです☹️）だったり、そんな活動も、もちろん大切です。ただ、そこにはオリンピックの心すら動かしてしまうような意味があるのではないか。今号は、そんな準備の意味について、考えてみたいと思います。

美しく多彩な一本で、パリオリンピックを沸かせた柔道日本代表の阿部一二三選手は、様々な場面のインタビューで、準備の大切さについて述べていました。私たち凡人は、阿部選手の素晴らしい姿に、つい「天才」と言いたくなります。しかし、阿部選手は、金メダル後のインタビューで次の様に述べています。

「辛いこと、しんどいことたくさんあると思うんですけど、僕は『努力は天才を超える』っていうのは自分の座右の銘でやらせてもらっているんですけど、絶対に無駄な努力ってないと思いますし、もし何か叶わなかったとしても、その努力してきたことっていうのは絶対に無駄にはなっていないと思うので、やり続けることっていうのは大切だと思うので、努力はしてほしいというか、努力は裏切らないと思っています」

激しく心を揺さぶられます。

なりたい自分を明確に見定め、努力を怠らない。さらには、叶わずともその努力を無駄ではないと愛おしく思うしなやかさを持ち、努力を続けていく中で改めて見えてくるもっともっとクリアななりたい自分を練り上げていく。そして何より阿部選手は、努力を重ねる準備の「しんどさ」をも、きちんと受け止める強さを兼ね備えています。その生き方自体に、私は心を揺さぶられたのではないかと思うのです。

なりたい自分があるってこそその準備。2学期始業式直前のここ、今、本当にすべき準備は、どんな自分になりたいのか、志や願いを強く、具体的に描き出すことではないのかなあ。

実は・楡木小学校の先生方も、2学期からの楽しい授業を目指して、準備に励んでいます。（ホームページ「[学校生活夏特編](#)」にも、少しでもその様子を掲載しています。）